

2019年度第4回西日本放送番組審議会

開催年月日 2019年7月23日(火) 14:00~16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名

高嶋克洋	委員長
鈴木森賢史	委員
森下聖史	委員
藤村晶彦	委員
片岡雅子	委員
岡山田佳子	委員
山崎達成	委員

欠席委員の氏名

佃昌道	委員
-----	----

社側の出席者

中村卓朗	(代表取締役社長)
富永久	(取締役総務局長)
中川弘之	(岡山本社中国総支社長)
小野修一	(報道制作局長)
吉田剛	(報道制作部長)

事務局

和家剛	(編成業務部長兼放送審議室長)
香山川豊宏	(編成業務部兼放送審議室)
山本峰子	(放送審議室)

2019年度第4回番組審議会議事次第

開催日 2019年7月23日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組

『 海は知っている
～詫間海軍航空隊～ 』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 社報 NO. 453
- タイムテーブル 夏号
- 視聴者対応 5月
- 2019年度第2回番組審議会議事録
- BPO報告 No.202
- 月刊民放 7月
- 民間放送(新聞) 6月13日・23日
7月 3日・13日

〔次回開催予定〕

開催日 2019年9月10日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

TEL 086-244-0111

議 題 テレビ番組 日テレ系4局共同制作

『 知ってるようで知らない名所
魅力増し増し! 穴場トラベラーPART6 』

放送日 2019年7月13日(土) 15:30～16:55

制 作 RNC 西日本放送テレビ

※後ほど番組DVDをお送りする予定です。

以上

【7月 議事概要】

今回は、テレビ番組『海は知っている ～詫間海軍航空隊～』を視聴していただきました。委員の皆さまからは、

- ・番組の最後のシーンが非常に印象的で、海へ突き出た滑走路の跡から澄みきった海が映し出され、まるで飛行機が離陸をするような撮影で、そのとき兵士が何を思い飛び立っていったのかを考えさせられるシーンだった。本当にいいシーンで締めくくった演出だったと思う。

- ・地元の放送局としてこういう番組を制作されることは意義があることであり、感謝している。

- ・特攻隊員がどんな気持ちで最後を過ごしたのかは本人でしかわからないことかもしれないが、それを側で見ていた人たちの証言で、気丈に振る舞って平気な顔をしていても、夜になったら荒れたり、こっそり涙を流すなど、そんなところで心の動きのようなものが、証言から明らかにできるのも貴重なことではないかと思った。

- ・当時の滑走路が残っている海の美しさ、それから映っている葉っぱや蝶や花などの自然はそのまま美しく残っているのに、人間のおろかさのようなものが際立ったような気がする。

- ・番組の最後に子どもや若者たちも含めて、皆さんの声を取材していたが、この番組には欠かせない内容だったように感じる。放送時間が、早朝の時間帯ではなく、次世代の若者に見てもらえる時間帯での放送だったらよかったように思う。

- ・こういった内容を30分にまとめるのは、伝えきれないと思うが、見るには30分ぐらいが丁度いいかなと思う。高松空襲を大々的にメディアが伝えてきたが、詫間に関しては殆どなかった。そういう点で今回の番組放映は、その存在を明らかにし、周知していくには非常に効果的だったように思う。との意見がありました。

制作者からは、今回は戦争がテーマですが、丁度2年ぐらい前から皆さんからご指摘いただいたように、戦争を知る人が高齢化とともに収録のチャンスが失われつつあることを認識し、夕方の『news every.』で主に証言を集めることを目的にシリーズ化したものを、夏を中心にやらせていただきました。その中の1つが詫間の特攻隊のものです。それぞれの兵士の細かな事実もわかってきたので、そういったところを今度の『NNN ドキュメント'19』では出したいと思っています。歴史の殆どが今の学生に歴史として残っていないこともわかってきたので、そのあたりも取り上げたいと思っています。今後も『news every.』を中心に、戦争をテーマにした取材は続けていきたいと思っていますし、証言を集める努力もしていきたいと思っています。旨が述べられました。